

科目名	仏教史概説ⅡD							学期	後期
副題	—				授業方法	講義	担当者	前谷彰	
ナンバリング	M2-02-201	実務経験の有無	無	関連DP	1	単位数	2	他	—

授業の目的と概要

仏教史の展開において、中国仏教史からはじめ、日本における仏教伝来期から奈良・平安・鎌倉と展開する仏教思想の特徴を概説し、特に平安期における最澄と空海の思想的相違点を詳しく概説して行く。

授業の到達目標

仏教史の中でも特に日本仏教の特徴について概説する。

授業計画

1. オリエンテーション
2. 中国仏教の特徴（特に教相判釈を中心として）
3. 大乘非仏説論（富永仲基の『出定後語』を中心として）
4. 仏教伝来期の日本の様相
5. 奈良（南都）仏教の特徴について
6. 平安仏教の特徴（総説）
7. 最澄の思想
8. 空海の思想①（『十住心論』）
9. 空海の思想②（『即身成仏義』）
10. 空海の思想③（『般若心経秘鍵』）
11. 鎌倉仏教（総説）
12. 真言宗・浄土（浄土真宗）の思想的相違点
13. 禅宗（特に曹洞宗）の思想的特徴
14. 菩提志向・現世利益
15. 仏教思想の普遍性について

準備学習(予習・復習)・時間

事後学習として授業で学んだことを復習する（60分）

テキスト

担当者がコピーを配布する。

参考書・参考資料等

担当者が作成のテキストをコピーして配布する。

学生に対する評価

授業参加への積極性（30%）、学期末の試験（70%）によって評価する。

ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) 授業目標の必要最低限度の条件を満たしている。
- (B) 日本仏教史の特徴を菩提志向と救済論的な側面から分析する能力を有すること。
- (A) 仏教の歴史を的展開を時代ごとの思想的特徴を踏まえて説明できる。
- (S) 仏教思想を現代の諸問題に応用して、説明することができる。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックの方法は授業の中で指示する。

その他

ノートを漏らさずとり、欠席しないこと。復習を欠かさない。